

News Letter

2022
Summer issue

令和4年8月18日発行

*Japan Society of Physical Education, Health and Sport Sciences
Division of Sociology of Physical Education and Sport*

一般社団法人
日本体育・スポーツ・健康学会 第72回大会
The 72nd Conference of the Japan Society of Physical Education, Health and Sport Sciences
総合知を生み出す 体育・スポーツ・健康科学 -成熟社会に向けての不断前進-

2022年
8月31日(水)~9月2日(金)
順天堂大学 さくらキャンパス

順天堂大学

Physical Education
Health Sciences
Sport Sciences

JSPEHSSXJUNTENDO 2022

日本体育・スポーツ・健康学会
体育社会学専門領域

事務局：〒002-8502

札幌市北区あいの里五条三丁目 1-5

北海道教育大学 札幌校

石澤 伸弘 研究室内

E-mail:

ishizawa.nobuhiro@s.hokkyodai.ac.jp

< 目 次 >

2022 年度専門領域総会のご案内	1
2022 年度専門領域研究会のご案内	1
日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会 スケジュール	3
発表プログラム	3
発表の形式について	4
キーノートレクチャー	4
研究委員会より	5
「年報 体育社会学」原稿募集	5
アーカイブ化 ご協力をお願い	5
事務局より	6

2022年度 専門領域総会のご案内

日本体育・スポーツ・健康学会 第72回大会の3日目に専門領域総会（ランチョン形式）を下記の通り開催します。

1. 日時：2022年9月2日（金） 12:00～13:00
2. 会場：順天堂大学 さくらキャンパス 第7会場（2号館1階12教室）

2022年度 専門領域研究会のご案内

日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会に先んじて、専門領域研究会を下記の通り開催します。

1. テーマ：地域スポーツクラブは何を求められているのか：第3期スポーツ基本計画と部活動の地域移行がもたらす変化
2. 目的：日本体育・スポーツ・健康学会体育社会学専門領域の研究の恒常的な振り返りと検証、さらに今後の研究の方向性を考究し、体育社会学専門領域会員相互の研究交流を促進することを目的として開催する。
3. 日時：2022年8月30日（火）15:00～17:30（懇親会はありません）
4. 会場：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント3階4021教室
※ハイブリッド方式での開催となります。オンライン参加の希望者は申込フォームへの入力時に「オンライン」を選択してください。

5. 趣旨： 2022年に策定された第3期スポーツ基本計画には、スポーツの価値を高めるための新たな「3つの視点」が設けられた。そこにはスポーツを「つくる／はぐくむ」（視点1）のために柔軟・適切な手法や仕組みを導入すること、様々な立場や背景、特性を有した人や組織が集まり課題に対応する、すなわちスポーツで「あつまり、ともに、つながる」（視点2）こと、そして、スポーツに「誰もがアクセスできる」（視点3）ようにするための「場づくり」などが施策として掲げられている。

一方、昨年からスポーツ庁では部活動の地域移行化の議論も進められており、5月の有識者会議を経た提言案では、教員の「働き方改革」にとどまらず、地域スポーツクラブが部活動の「受け皿」として期待されていることが明らかになっている。

こうした流れを受けて、本研究会は、今後をみすえた地域スポーツクラブの可能性や課題について議論すべく上記テーマを設けた。これまで地域スポーツクラブについては、具体的な制度や受益者負担をどうするかという問題など現実的な課題への対応をめぐる議論に傾きがちであったが、今回は、より根本的な、地域クラブや部活動をとりまくスポーツ文化のあり方を問

う視点を共有しながら議論を深めたい。

そのため、公共性からみた地域スポーツクラブについて研究をされている海老島氏，行政や現場で地域スポーツクラブの運営に携わってこられた西氏，松田氏，社会学の視点から地域スポーツクラブについて研究をされている伊藤氏にご報告いただく。

6. 内容：【報告者】

- ・海老島 均（成城大学）

「地域クラブと学校部活動の相互補完性構築に向けて-スポーツ環境における多様性，個別性を確立するには（仮）」

- ・西 政仁（奈良県生駒市生涯学習部スポーツ振興課）

「『部活動の地域移行』～いま総合型クラブが地域に求められる理由～」

- ・松田 雅彦（大阪教育大学附属高等学校平野校舎，スクール・コミュニティクラブ ひらの倶楽部会長）

「スクール・コミュニティクラブ ひらの倶楽部のチャレンジ ～部活動の地域移行を超越～」

- ・伊藤 恵造（秋田大学）

「縮小化する地域社会と場を継承するスポーツクラブ（仮）」（兼コメンテーター）

【司会】

- ・稲葉 佳奈子（成蹊大学）
- ・原 祐一（岡山大学）

7. 参加費：無料

8. 参加申込方法：下記フォームに必要事項を入力してください。

<https://forms.gle/7mFL2QcVGSbfjd9L7>

9. 参加受付〆切：2022年8月26日（金）正午

10. 問い合わせ先：専門領域研究会に関してご不明な点がございましたら，下記までご連絡ください。

体育社会学専門領域研究委員会 稲葉佳奈子 E-mail: kinaba@fh.seikei.ac.jp

日本体育・スポーツ・健康学会 第72回大会スケジュール

1. 大会日程：2022年8月31日（水）～9月2日（金）
2. 開催会場：順天堂大学 さくらキャンパス
3. 体育社会学専門領域プログラム
＜9月2日（金）（3日目）＞（すべて第7会場：2号館1階12教室）
 - 9:00～9:50 評議員会
 - 10:00～10:50 口頭発表①（2演題）
 - 11:00～11:50 キーノートレクチャー
 - 12:00～13:00 総会（ランチョン形式）
 - 13:10～14:30 口頭発表②（3演題）
 - 14:35～15:55 口頭発表③（3演題）
 - 16:00 閉会

4. 体育社会学専門領域 発表プログラム.

◆口頭発表①：2022年9月2日(金) 10:00～10:51 第7会場（2号館1階12教室）

座長：溝口 紀子(日本女子体育大学)

[02社・口-01]

10:00～ 高平 健司

「嘉納治五郎は『剣道、弓道、柔道、合気道』などを包摂する『武道の定義』（戒・定・慧）を分かっていたーこのことを『剣道や禅の修行』と『自然体の姿勢によるつくりとかけの柔道修行の修養』による『意識の厳密なる統一』が同じ『定』の階梯であるとする嘉納の言説から明らかにするー」

[02社・口-02]

10:26～ 東原 文郎(京都先端科学大学)

「1940年代外地における企業スポーツー満洲電業の事例ー」

◆口頭発表②：2022年9月2日(金) 13:10～14:27 第7会場（2号館1階12教室）

座長：高橋 豪仁(奈良教育大学)

[02社・口-03]

13:10～ 吉田 明子(日本大学), 水上 博司(日本大学)

「全日本小中学生ダンスコンクールに関する研究(2)ー第1回から第6回大会の出場者の出場回数と連続出場に着目してー」

[02 社・口-04]

13:36～ 清宮 孝文(静岡産業大学),阿部 征大(神戸医療未来大学),依田 充代(日本体育大学)
「大学生のスポーツボランティア活動に対する他律的な認識に関する一考察」

[02 社・口-05]

14:02～ 宮崎 亜美(立教大学大学院 学生・博士前期課程), 松尾 哲矢(立教大学)
「キャリア形成をめぐる体育会文化に関する実証的研究－体育会所属学生を対象として－」

◆口頭発表③：2022年9月2日(金) 14:35～15:52 第7会場(2号館1階12教室)

座長：笹生 心太(東京女子体育大学)

[02 社・口-06]

14:35～ 鳥巢 明亜(東海大学大学院 学生・博士前期課程)
「『スポーツ化』するスケートボーディング」

[02 社・口-07]

15:01～ 中山 健二郎(沖縄大学)
「スポーツをめぐる『沖縄らしさ』に関する探索的研究－沖縄地方紙の計量テキスト分析－」

[02 社・口-08]

15:27～ 下窪 拓也(新潟医療福祉大学)
「運動格差の再検討－運動非実施理由と社会経済的地位の関連から－」

5. 発表の形式について

- ・今大会における本領域の発表数は、口頭発表8演題です。
- ・口頭発表は1演題あたり25分間(発表15分間、質疑応答10分間)です。
- ・詳細につきましては第72回大会プログラムをご参照ください。

6. 専門領域キーノートレクチャー

日時：2022年9月3日(金) 11:00～11:50

会場：順天堂大学さくらキャンパス 第7会場(2号館1階12教室)

テーマ：「体育社会学の専門性を俯瞰する」

演者：海老原 修(尚美学園大学)

司会：原 祐一(岡山大学), 工藤 保子(大東文化大学)

研究委員会より

■専門領域研究セミナーの開催

➤研究および会員サービスの充実に資するため、体育社会学専門領域研究セミナーを実施する。

1. 名称：2022年度第1回体育社会学専門領域研究セミナー
2. 期日：2023年2月20日（月）18：00～20：00

「年報 体育社会学 第4号(2023)」の原稿募集について

—「年報体育社会学」編集委員会—

「年報体育社会学」編集委員会では、現在第4号（2023年3月末刊行）の投稿論文の原稿を受け付けております。投稿された論文が2023（令和5）年1月末までに論文審査を終えて採択されれば第4号への掲載となりますが、1月末を過ぎても採択後には翌年の機関誌の刊行（第5号）を待たずにJ-stageへ早期公開し、可能な限り投稿者の研究成果を国内外の研究者に広く共有してもらえよう編集体制を整えております。投稿先を検討中という会員の皆様には、是非とも「年報体育社会学」へのご投稿を検討ください。なお、投稿には締め切りはございません。年間を通じて投稿を受け付けておりますので、何卒よろしくお願いたします。詳細は、「投稿に関わる諸規程等一覧」をご覧ください。

http://pesociology.jp/wp/wp-content/uploads/annualreport_regulations_20181008.pdf

「年報体育社会学」J-STAGEはこちらからご覧いただけます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/arspes/-char/ja>

アーカイブ化 ご協力をお願い

—広報委員会—

現在、日本体育・スポーツ・健康学会体育社会学専門領域の発表論文集・抄録集をアーカイブ化しています。第15号～現在までの論文集・抄録集については体育社会学専門領域ホームページ上で公開いたしました。第14号までのアーカイブ化については事務局で保管している現物がないことから作業を中断しております。もし、アーカイブ化にご協力いただける方がおられましたら、下記アドレスにご連絡いただけないでしょうか。

事務局メールアドレス：taishajimukyoku@gmail.com（事務局専用）

なおPDFにするにあたり、背表紙を約1cm程度切り落とす必要がありますので、その点をご了承いただける方がおられれば幸いです。何卒ご協力の程よろしくお願申し上げます。

事務局より

1. 会員動向：体育社会学専門領域の会員数は、2022年8月18日現在348名です。
2. 会員情報変更：日本体育・スポーツ・健康学会会員の名簿管理は学会本部が行っております。勤務先の住所・所属などの変更があった場合は、すみやかに学会ホームページよりマイページにログインして変更するか、もしくはホームページ上にアップロードされている「会員情報変更届」を学会本部事務局にFAX、封書、メールにて送付してください。学会本部とともに専門領域事務局にもメールでご連絡いただくと助かります。
3. 会則および諸規定等の改訂版について：諸規定等の改訂版は、随時専門領域ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

事務局メールアドレス：taishajimukyoku@gmail.com（事務局専用）

あとがき

News Letter 2022 Summer Issueをお届けいたします。今号で詳細をご案内しています順天堂大学の日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会は、「2020 横浜スポーツ学術会議」を挟みまして、3年ぶりに対面形式での参加が可能となります。このコロナ禍においてオンライン形式での学会大会の開催が身近なものとなり、それによって会場への移動の必要もなくなるため、比較的気軽に大会参加ができていた側面があるかと思えます。ただ、オンライン開催のそうした利点は認めつつも、やはり対面開催において、その場の雰囲気を含めた直接的な体験を通して深く脳裏に刻み込まれる学びは何物にも代えがたいとも感じています。私の場合、聴衆の一人として、演者と質問者とのディスカッションの迫力に圧倒された大学院生時代の体験を今でも鮮明に覚えています。今回こうして久しぶりに対面形式で大会参加することによって、改めてその意義を再確認できるのではないかと期待しているところです。

新型コロナウイルス第7波が今なお続く中、他の社会領域と同様に、体育・スポーツもまた試行錯誤しながら、できるだけ平常な状態での活動に戻ろうとしています。たとえこのまま少しずつではあっても、みなが体育・スポーツを心おきなく楽しむことができる日常に戻れることを願ってやみません。各会員のみなさまにおかれましては、くれぐれもお身体ご自愛ください。

藤井 雅人（広報委員会）